

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年12月18日

計画の名称	大津湖岸なぎさ公園再整備事業											
計画の期間	令和06年度 ~ 令和10年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	大津市											
計画の目標	<p>大津湖岸なぎさ公園（以下「本公園」という。）は、島の関から石山まで続く琵琶湖沿いに広がる公園で、「おまつり広場」、「打出の森」、「なぎさのプロムナード」、「市民プラザ」、「サンシャインビーチ」、「膳所・晴嵐の道」の6つのエリアで構成されている。本公園については、琵琶湖の豊かな自然環境や良好な景観等の空間が市民等の憩いの場として大きな役割を果たしているほか、公園とその周辺には、文化施設や宿泊施設、運動施設などが集積しており、市内外から多様な人が集まる本市を代表する公園である。</p> <p>これまでに本市では、本公園のにぎわい創出の拠点づくりのため、「おまつり広場」では大津港を含めた官民連携事業、「打出の森」では設置管理許可による飲食店「なぎさのテラス」の設置を実施し、令和4年度から「市民プラザ」ではPark-PFI制度による飲食・物販店舗の設置と特定公園施設の整備を進めている。本計画では、本公園の更なるにぎわいの創出と、利用者の利便性向上や全長4.8kmにわたる本公園の特徴をいかした回遊性の高い空間づくりを進め、より地域の拠点となる公園となることを目的として、民間事業者による再整備事業とも時機を逸することなく、一体的かつ連続性のある再整備を行うものである。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	450	A	450	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4末	R8末	R10末
1	大津市緑の基本計画に位置付けられた都市公園として、地域づくり拠点公園を1か所再整備することにより、当該公園における年間の駐車場利用台数を191,913台（R4末）から221,000台（R10末）に向上させる。			
	大津湖岸なぎさ公園における年間の駐車場利用台数	191913台	215000台	221000台

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R06	R07	R08	R09	R10				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	都市公園事業(地域づくり拠点公園)	大津湖岸なぎさ公園におけるにぎわい創出に資する再整備	大津市						450	1.77	策定済	
												小計						450		
											合計						450			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	72				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	72				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	72				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 大津湖岸なぎさ公園再整備事業

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 「緑の基本計画」との適合等	○
I. 目標の妥当性 1) 計画目標が緑の基本計画における基本目標と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 緑の基本計画との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	○
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	○
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 基幹事業にちなんだ関連事業等の実施によって、より効果が上がるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 事業の緊急性	○
III. 計画の実現可能性 1) 地域住民の安全性が確保されるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 各地域の課題の解消となる計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	○
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

2) 予算の確保が可能である現実的な事業費を見込んだ計画となっている。

○

I. 目標の妥当性

I. 目標の妥当性

I. 目標の妥当性

I. 目標の妥当性

I. 目標の妥当性